

■ 募集要項

応募期間：2019年6月21日(金)～8月20日(火)

応募方法：応募用紙を下記HPよりダウンロードし、問い合わせ先(office@hso-t.com)へメールで送付。

単発講座のみ受講希望者は氏名・連絡先を下記問い合わせ先へメール送付。

もしくは、こちらから申込み ▶ 単発講座申込みフォーム <https://forms.gle/eYBUtNoLSGoXuds5>

QRコードからでも単発講座申込みフォームへ進めます▶



お申込みから受講開始までの流れ：

応募書類受信 ▶ 応募書類による選考(地域性、公益性) ▶ 受講決定通知(9月中旬頃) ▶ 受講料のお支払い ▶ 開講式出席(9月中下旬)
※単発講座のみ受講の方は、原則開催日の5日前までに参加申込・参加費は当日支払

問い合わせ・応募先：

ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)

(事務局：一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所(HsI)) 担当：中川、霜倉

豊岡：〒668-0032 兵庫県豊岡市千代田町 9-10

大阪：〒541-0042 大阪市中央区今橋 3-1-7 日本生命今橋ビル 10F (株)地域計画建築研究所(アルパック)内

E-mail: office@hso-t.com Tel: 06-6205-3600 <http://hso-t.com/> ひょうご HsO 🔍 検索

※原則メールでのお問い合わせをお願いします。

スタートアップコース、高校生・ユース向けコース(但馬・丹波)も開催します。

スタートアップコース

■ 受講期間

2019年9月～2020年3月修了予定
月1回程度、2時間半程度の講座開催

■ 概要

メイン講座(3回)とサブ講座(3回)を受講し、個人の活動計画づくりを行う約半年間のコースです。定員20名程度

■ メイン講座

「リスタート～持続可能な地域づくりにむけた私の活動・行動計画づくり」をテーマした講座3回
(メンター：熊谷 哲氏 兵庫県立大学名誉教授)
(レクチャー：戸田 幸典氏 ひょうご持続可能地域づくり機構)

■ サブ講座

講座：「触れる地球で、世界のできごとを体感する」
@ひょうご環境体験館(講師：畑中 ※裏面に詳細あり)

＋
講座2コマ選択制

裏面記載のサステナビリティ・オーガナイザーコースより関心のある2コマを選択

※会場は、たつの市神岡町、または姫路市内予定
※詳しいコース内容は上記HPをご覧ください。

高校生・ユース短期集中コース

受講料：学生無料 社会人は2日間 3,000円 詳細は上記HPをご覧ください

■ 日程 ※全日程時間：13時30分～17時30分

但馬地域
1日目：2019年8月17日(土)
2日目：2019年8月19日(月)
会場：豊岡稽古堂3階交流室3-1

丹波地域
1日目：2019年8月18日(日)
2日目：2019年8月20日(火)
会場：丹波の森公苑 セミナー室

■ 各地域共通プログラム：

1日目▶ 将来を考える視点を学ぶ講座&ワークショップ
2日目▶ 先輩の働き方をひもとき、これからを考えるワークショップ

■ 対象：但馬・丹波地域で持続可能な地域づくりに関心がある、
高校生・大学生 各地域計30名程度
*希望者多数の場合は高校生を優先し、抽選

■ 募集期間：6月26日(水)～8月7日(水)

1日目共通講座：『きみたちの生きる時代』

澁澤 寿一氏 農学博士(「澁澤事務所」代表(澁澤栄一曾孫))



ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)とは

当機構(HsO)は、持続可能な社会に向け、地域が中心となって取り組むための担い手育成を目的に、環境省の人材育成モデル事業として、全国3地区のうちの1つとして選定されたことを契機として2015年に兵庫の但馬・豊岡の地で発足し、活動を行っています。

構成：兵庫県、兵庫県立大学、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市、姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、(株)地域計画建築研究所(アルパック)、(一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所

【事業パートナー】

豊岡商工会議所、豊岡市商工会、(株)但馬銀行、但馬信用金庫、NPO法人コウノトリ市民研究所、NPO法人暮らしのエコをすすめる但馬の会、姫路商工会議所、姫路市商工会、宍粟市商工会、(株)三井住友銀行、(株)みなと銀行、西兵庫信用金庫、但陽信用金庫

【理事】

坂本 成彦(豊岡市 環境経済部長)
西村 宏志(姫路市 環境局環境政策室長)
平瀬 忠信(宍粟市 市民生活部長)
菊池 義浩(兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 講師
兵庫県立コウノトリの郷公園 研究員)

土川 忠浩(兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科 教授)
畑中 直樹(株)地域計画建築研究所(アルパック) 役員 大阪事務所副所長 *代表理事

【監事】

橋本 正人(兵庫県農政環境部 環境創造局長)

一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(HsI)とは

修了した受講生とともに持続可能な地域づくりに向けて、事業の具体化、社会への実装を共に進めていくため、一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所(HsI)を平成29年4月に設立しました。本事業の事務局を担当しています。

※平成29年4月11日設立、同5月9日登記

第5期生募集 【8月20日締切】

ひょうごSDGs 未来事業塾

サステナビリティ・オーガナイザーコース



持続可能な社会に向け、 新たな事業づくり・地域づくりの ノウハウを学ぶ

持続可能な地域づくりや事業づくりのために、今、何が求められているのでしょうか？
全国の実践者の講師の方々から、これからの活動のためのヒントやノウハウなどを学びあう場です。

SDGs・Society5.0にどう取り組む？ **新しい事業や活動をスタートしたい！**
社会・地域に貢献する活動をはじめたい！ **今の事業や活動をステップアップさせたい！**

という方、お悩みの方、お待ちしております。

社員・職員研修の機会としてもご活用出来ます(法人受講・若手割引あり)

キックオフ セミナー 参加無料

募集説明会 同時開催

今、求められる地域・企業戦略を知るセミナー ーパリ協定やSDGs、日本の長期戦略等を受けてー

日時：2019年7月20日(土)13時30分～16時(受付13時～)
会場：姫路・西はりま地場産業センター 5階502会議室

松尾 雄介氏

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
ビジネススクフオース ディレクター
(Japan-CLP事務局ディレクター)

三和銀行(現三菱東京UFJ銀行)、環境投資顧問の株式会社グッドバンカーを経て2005年より現職。
2005年 Lund University (スウェーデン) 産業環境経済研究所修士課程修了(環境政策学修士)。気候変動問題と企業の関わりについて一貫して研究活動を実施。現在は日本の先進企業で形成され、低炭素社会を目指す Japan-Climates Leaders' Partnership の事務局を務める。受賞歴：2010年度 エネルギー・資源学会 第14回 奨励賞、環境省 第9回、第11回 NGO/NPO・企業環境政策提言 最優秀賞

受講期間：2019年9月 ▶▶▶ 2020年8月(予定)

主催：ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)【事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(HsI)】

詳しくはWebで [ひょうご HsO](#) 🔍 検索



■ スクール概要

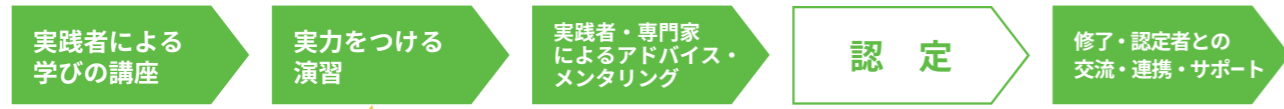
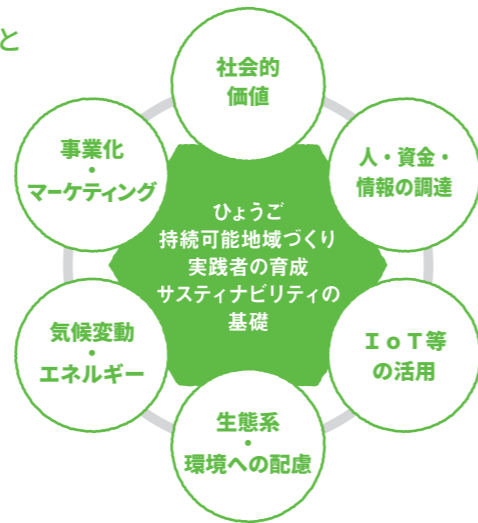
これからの事業づくり・活動づくりに必要な視点を学ぶ「**学びの講座**」と実践的な事業・活動計画の組み立てを学ぶ「**実力をつける演習**」。

20名程度的小数精鋭の中身の濃い講座で、受講生同士・修了生、さらに、全国のトップランナーの講師の方々との**地域内外のネットワーク形成**も可能です。

修了後も、機構が各受講生の**フォローアップ**を行うとともに、認定者・修了者同士のサポート・連携促進も行います。

【受講生へのサポート】

受講者は欠席回についてDVD視聴によるフォローを受けることができます。



チームに分かれて、具体的なテーマを具現化するための調査・計画づくりを実践的に学びます。

演習テーマ：①～⑤のコアターゲット GOALS と他 GOALS の掛け合わせた取り組みの具現化を学ぶ。

- ①地域内循環(SDGsゴール: 12)
- ②地域の新たな仕事づくり(SDGsゴール: 8, 9)
- ③エネルギー・気候変動(SDGsゴール: 7, 13)
- ④山・海・川の自然資源の活用・保全 (SDGsゴール: 14, 15)
- ⑤住み続けられるまち(SDGsゴール: 11)



■ コース概要

（対象） ・SDGsの理念を基礎として、持続可能な社会の実現のために、事業づくりや地域づくりを率先して進めたいと考える方
・地域との関わり、多様なセクターとの連携、事業の継続実施をコーディネートしたいと考える方
・個人、法人(企業・NPO等)、高校生・大学生、地方公共団体職員 など

（定員） 20名程度 ※HsO全体にて選考を実施

（受講料） <個人> 学生(高校生以上25歳まで): 無料、35歳以下社会人: 10,000円、左記以外の個人: 15,000円
<法人> 25,000円(1回の講座につき同法人から2名まで参加可)
※視察等は上記以外一部実費負担あり。
<単発講座受講> 1講座 1,500円
※本講座および1年間の伴走支援は、(公財)ひょうご環境創造協会からの補助により、実質30万円相当講座を上記金額で受講いただけます。

（認定） 講座を受講し、チームによる活動・事業計画立案演習により一定の能力を身に付けた方を、サスティナビリティ・オーガナイザー(持続可能地域士(SO))に認定する。

第4期受講生の声

集まったのは、世代も立場も異なる受講生たち。共通するのはただ一つ、社会の中で何か問題意識があること。私たちは一人では何もできない。けれど、集い、知恵を出し合うことができる。私たちはあまりにたくさんいることを知らない。けれど、自分が何を知らないか、知ることができる。いつでも、そこから始めることができる。 安達 沙織さん



多彩な外部講師による日本ではあまり語られないお話や経験に基づいた講演、泊りがけでの視察と町おこしを実際にされている方々のお話し、世代を超えたグループでの討議など、一年間を通じて「実践スクール」という名前にもふさわしい充実した内容でした。 株式会社ヒラカワ 楠田 文幸さん



自分の働いている宍粟市がテーマとなり、受講生の方々とお話をして、一人では、考えられなかった意識・アイデアが浮かび、又、テーマに沿って行く中で、今の宍粟市の現状を再確認する事も出来ました。修了後もネットワーク作りをし、宍粟市の活性化につなげていきたいです。 医療法人社団 いなもち医院 副事務長 井戸 啓介さん



企業経営では顧客ニーズを把握し、満足して頂くことが最重要事項です。現在、全ての顧客が注目するニーズとして、地球環境の保全や持続可能な地域づくりが挙げられます。こうした大きなテーマを自社でどう事業化するのか、本講座を通じて学び、実践されては如何でしょうか。 但馬信用金庫 常勤理事 事業支援部長 宮垣 健生さん



■ 講座スケジュール

（実施場所） ◎兵庫県立大学姫路キャンパスや姫路市駅周辺(内容により実際のフィールド)
（時間） ◎13:30～16:30頃 ※講座+演習の場合は、17時30分頃まで。

開講式	2019年9月21日(土)13時より スタートアップコースと同時開催	
学びの講座	第1回：これからの地域に求められる事業の視点・あり方	
2019 9/21(土)	大久保 和孝氏 株式会社大久保アソシエ 代表取締役社長 公認会計士 (前 EY 新日本有限責任監査法人経営専務理事)	慶應義塾大学卒。政府や企業等の多数の役職につくほか、長野県・浜松市・鎌倉市コンプライアンス担当参与、地方活性化支援として大阪府・長野県・宮崎県日南市・北海道夕張市・京都府京丹後市・宮城県気仙沼市・岩手県釜石市の参与、アドバイザー等、キリンビール 地域創生トレーニングセンタープロジェクト運営委員。長野県農業大学校客員教授ほか歴任。
学びの講座	第2回：持続可能な地域のために必要なお金の流れ～地域の資金を地域の課題解決につなぐ新たな仕組み	
2019 10/5(土)	深尾 昌峰氏 龍谷大学政策学部教授・PLUS SOCIAL グループ代表	熊本県出身。滋賀大学大学院修了。2001年に日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」を立ち上げて参画し、理事長などを歴任。公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任('09年～'17)。その他、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来委員会」委員などを歴任。2013年には社会的投資を促進する株式会社 PLUS SOCIAL を起業。2014年グッドデザイン賞を受賞。2016年には日本初の社会的投資専門金融会社プラスソーシャルインベストメントを起業(現在、代表取締役会長)。
学びの講座+演習	第3回：SDGsの基礎そして、地域に役立つ事業・活動とは？～持続可能な地域づくりの視点から～	
2019 10月下旬～11月(調整中)	畑中 直樹氏 ひょうご持続可能地域づくり機構 代表理事 (一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所 代表理事	戸田 幸典氏 ひょうご持続可能地域づくり機構 (一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所
先進地視察	1泊2日で先進的な取り組みを視察します	
2019 10月下旬～11月の土日予定(調整中)	持続可能な地域づくりに資する事業・活動やSDGsに取り組む先進地に1泊2日で視察します。地域で活躍する先駆者の方々の想いや活動の経緯等のお話をうかがうとともに、自分たちの事業や地域づくりでどんなことが活かせるか、またどんな活動をしていくのかを考えます。(これまでの視察地：長野県飯田市、岡山県真庭市)	
学びの講座+演習	第4回：社会課題解決に向けた活動・事業づくりに必要なマーケティングの基礎	
2019 12/7(土)	山元 圭太氏 合同会社喜代七 代表	1982年滋賀県生まれ。同志社大学商学部卒。経営コンサルティングファームで経営コンサルタントとして5年、認定NPO法人かものはしプロジェクトでファンドレイジング担当ディレクターとして5年半のキャリアを経て、非営利組織コンサルタントとして独立。2018年に故郷の滋賀県草津市で合同会社喜代七を創業。「地域を育む生態系をつくる」をミッションに掲げ、滋賀県で実践すると共に、全国各地で支援を行っている。株式会社 Seventh Generation Project 代表取締役、NPO 法人日本ファンドレイジング協会 理事 / 認定ファンドレイザー、NPO 法人おちろラボ 理事、鳥根県雲南市地方創生総合戦略推進アドバイザーを務める。
学びの講座+演習	第5回：IoTで地域課題を解決する	
2020 1/11(土)	佐藤 拓也氏 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事 / YuMake.LLC 代表	大学院時代は、気象シミュレーションによる研究を行う。その後、SE、民間気象情報会社を経て、気象業界を変えるべく独立。気象データの提供を通じて、アプリやWebサービス、データ分析サービスの付加価値向上に取り組んでいる。防災士。 居住地の奈良県生駒市では、ITを活用し地域課題を解決することを目的とするコミュニティ、CODE for IKOMA を立ち上げ、ITを活用した公民連携に取り組む。一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事、総務省 地域情報化アドバイザー、大阪府立大学 都市防災教育研究センター 特別研究員、株式会社 地域計画建築研究所 STO(ソーシャル・テクノロジー・オフィサー)も務める。
学びの講座+演習	第6回：地域の「文化力」を活かした事業再生・新規展開	
2020 2/1(土)	川井 徳子氏 ノブレスグループ代表	創業の地である奈良県を中心に、観光事業、物流事業、不動産事業を関西一円で展開するノブレスグループの代表。壊れかけたビジネスや施設を再生させる事業プロジェクトを数多く手掛け、地域の活性化や被災地の復興にも取り組んでいる。公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ専務理事、奈良国立博物館評議員、奈良地方裁判所委員会委員も務める。
演習	チームに分かれて事業計画の組み立てを実践	
2020 2/15(土)	畑中 直樹氏 ひょうご持続可能地域づくり機構 代表理事 (一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所 代表理事	博士(環境科学)。1964年横浜生まれ・福岡育ち。大阪大学工学部環境工学科卒業後、一貫して地域の環境問題・持続可能な地域づくりに取り組むかたわら、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)客員研究員、大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)、行政の各種委員等を務める。また、自然再生や森林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動。
	演習：1回～2回程度および個人・チームでの調査・とりまとめ 畑中ほかひょうご持続可能地域づくり機構メンバーがメンターとなり、メールやグループワーク等を通じて事業計画の組み立てに必要な調査や仮説の組み立てを行います。	
中間発表	中間取りまとめ状況を発表	
2020 3月予定(調整中)	検討の成果を発表し、機構メンバー(兵庫県、自治体、金融機関等)から事業計画等に関するフィードバックを行います。	
	2020年春以降～夏：ステップアップ講座(3回程度) 事業計画のブラッシュアップおよび個人の活動・事業計画の組み立て(講師・メンターがフォローアップを行います。)	
修了発表会	成果を発表 修了認定	

※調整中の日程については、情報確定次第、HP等を更新し、情報を公開します。